

## 主題セッション1

### 「安全確実な ESD を目指した術後潰瘍の対策と工夫」

司会 藤原 靖弘（大阪公立大学消化器内科学）

片岡 幹統（国際医療福祉大学三田病院消化器内科）

近年の消化管癌に対する低侵襲治療としての ESD は胃・食道・大腸に留まらず、咽頭や十二指腸にも広く普及している、消化管の表在性腫瘍に対する ESD は十二指腸領域を除くとほぼ一般化・標準化したと言っても過言ではないだろう。消化管癌に対する ESD の発展は、各臓器を温存しつつ外科手術と同等の根治性が得られるなど、恩恵は計り知れない。また高齢化社会も相まって消化管癌に対する ESD の需要は増加の一途を辿るばかりである。しかし、偶発症の完全なる予防法は未だ確立されていないことが依然課題として残っている。本セッションでは、さらなる安全で確実な ESD を行う上で、特に狭窄、穿孔、出血などの予測可能な合併症に対する予防に関して術後潰瘍の対策と工夫について少数例からでも幅広く募集し、内視鏡治療の合併症対策について活発な討論を期待したい。臓器を問わず、「目から鱗」的な対策や工夫、本当は人には教えたくない新たな試みなどに関する演題も大歓迎する。